

2026 年 1 月 9 日
株式会社地域新聞社

**【生成 AI アンケート】『ちいき新聞』3 月 6 日「生成 AI 特集号」に向け実施！
継続的に生成 AI を使用しているのは約 3 割**

株式会社地域新聞社（本社：千葉県八千代市、代表取締役：細谷 佳津年、証券コード：2164、以下「当社」といいます。）は、『ちいき新聞』2026 年 3 月 6 日号にて企画している「生成 AI 特集号」のため、地域新聞社メルマガ会員 56,625 名を対象に生成 AI に関するアンケートを行い、1,425 名から有効回答をいただきました（※）。

※実施期間：2025 年 12 月 13 日(土)～16 日(火)

■『ちいき新聞』とは

千葉県と茨城県で約 174 万部発行。1 軒 1 軒ポストに手配りをする週刊フリーペーパーです。「地域密着の双方向メディア」をコンセプトに、クイズやアンケート、読者体験記事など、読者参加型のコンテンツを数多く展開。今回の生成 AI 特集号でも、本アンケートを反映した内容を制作中です。

1.『ちいき新聞』3 月 6 日号は生成 AI 特集

3 月 6 日号のちいき新聞では「生成 AI」をテーマにした記事を掲載します。AI を「特別な技術」ではなく、「人の暮らしや学びを支える身近な道具」として紹介します。

【コンテンツ（予定）】

・あなたの世界を変える生成 AI

AI に関心はあるけれど、使い方がわからない読者に向けて「AI との付き合い方」をチャートでタイプ別診断し、それぞれに合った活用法を紹介します。

・AI 講座に行ってみた！ — 暮らしを便利にするヒントがいっぱい

読者の代表が AI 講師に「教育や生活で役立つ AI 活用法」を教わる体験の様子をレポート。AI が「人の生活に寄り添う技術」であることを伝えます。

・AI が授業を変える — 船橋・飯山満中学校の実践から見る「学びの未来」

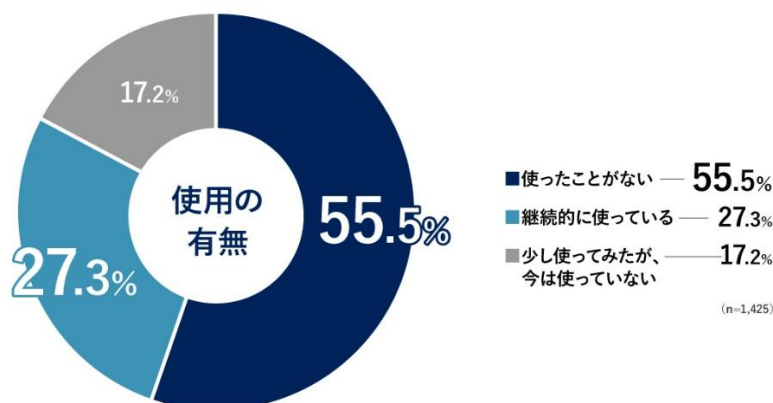
生成 AI を活用した実践的な授業づくりが進んでいる船橋市・飯山満中学校での現場レポートをお届けします。

さらに、企業様向けに、当社の編集が記事を制作するタイアップ全面記事広告や、特集記事×広告の相乗効果が見込めるタイアップ広告もご用意しています。

以下、生成 AI にまつわるアンケート結果を発表します。

2.生成 AI を使ったことがありますか？

生成 AI を使ったことがありますか？

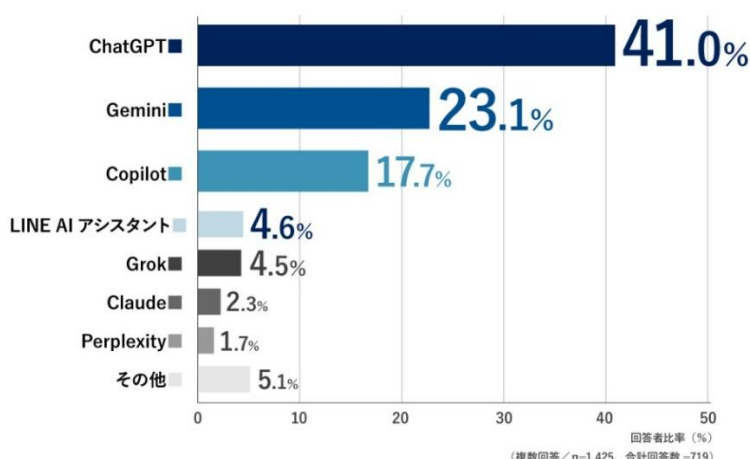


私とあなたの真ん中に
Chiiki
地域新聞社

「生成 AI を使ったことがありますか？」という質問に対し、1 位は「使ったことがない」で、全体の半数以上という結果に。「少し使ってみたが、今は使っていない」という答えも合わせると、現時点で 7 割強が生成 AI を使っていないことになります。「継続的に使用している」と答えた人は約 3 割でした。最近話題の生成 AI ですが、継続的に使用している人はまだ少数であることがわかります。

3.利用した生成 AI サービスを教えてください（使ったことがある方対象、複数選択可）

利用した生成 AI サービスを教えてください （使ったことがある方対象、複数選択可）

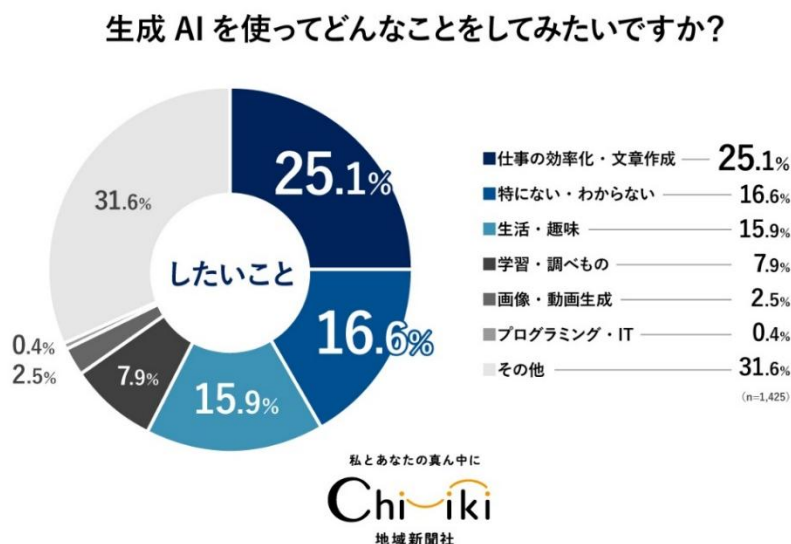


私とあなたの真ん中に
Chiiki
地域新聞社

「利用したことがある生成 AI サービスは何ですか？」という質問に対し、圧倒的 1 位は生成 AI プー

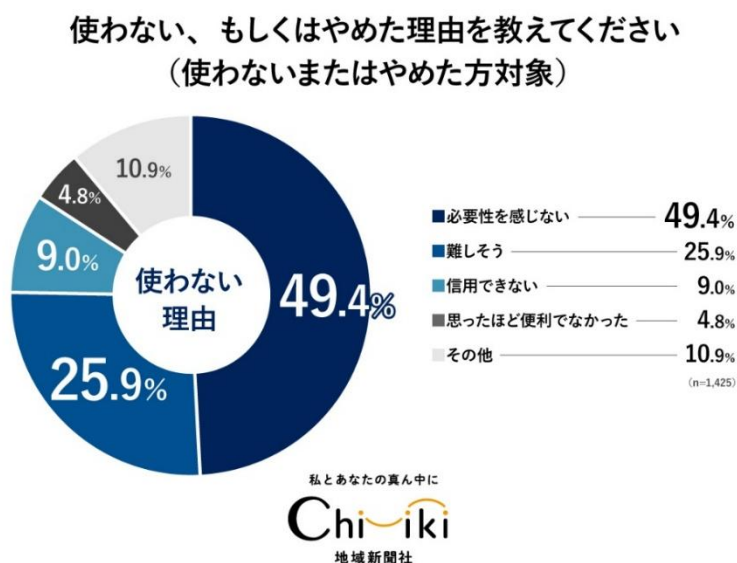
ムの火付け役である「ChatGPT（チャットジーピーティー）」で、回答の約 4 割を占めました。2 位の Google が開発した「Gemini（ジェミニ）」、3 位のマイクロソフトが開発した「Copilot（コパイロット）」と続きます。4 位以下は、LINE と連携した「LINE AI アシスタント」や X と連携した「Grok（グロク）」、安全性と倫理性に配慮した「Claude（クロード）」、最新情報検索・ファクトチェックに特化した「Perplexity（パープレキシティ）」など、特色ある生成 AI の名前が上がりました。

4.生成 AI を使ってどんなことをしてみたいですか？



「生成 AI を使ってどんなことをしてみたいですか？」という質問に対して、回答の 1 位は「仕事の効率化・文章作成」で 25.1%でした。しかし、まだまだ生成 AI は発展途上で、仕事で利用する際のルールや仕組み作りが整っているとは言い難い状況にあります。それは回答の 2 位が「特にない・わからない」であることからもうかがえます。3 位以降は、趣味や調べもの、画像や動画生成と続き、わずかながらプログラミングや IT という回答もありました。

5.使わない、もしくはやめた理由を教えてください（使わないまたはやめた方対象）



「生成 AI を使わない、もしくはやめた理由を教えてください」という質問に対し、「必要性を感じない」という回答が約半数を占め 1 位でした。2 位は「難しそう」という回答で、25.9%と全体の約 4 分の 1 を占めます。生成 AI に関心は高いものの、実際に試したことがない人が多いことがうかがえます。3 位は「信用できない」という回答。生成 AI に情報を読み込ませることで、情報漏洩につながる可能性もあるため、使い方について正しく知ることが重要です。

6.『ちいき新聞』媒体概要

発行部数：約 174 万部

発行エリア：千葉県・茨城県を中心に 40 エリア

発行日：毎週金曜日（水・木・金曜日配布）

配布方法：専属配布員によるポスティング配布

【3 月 6 日生成 AI 特集号】

発行日：2026 年 3 月 6 日（金）

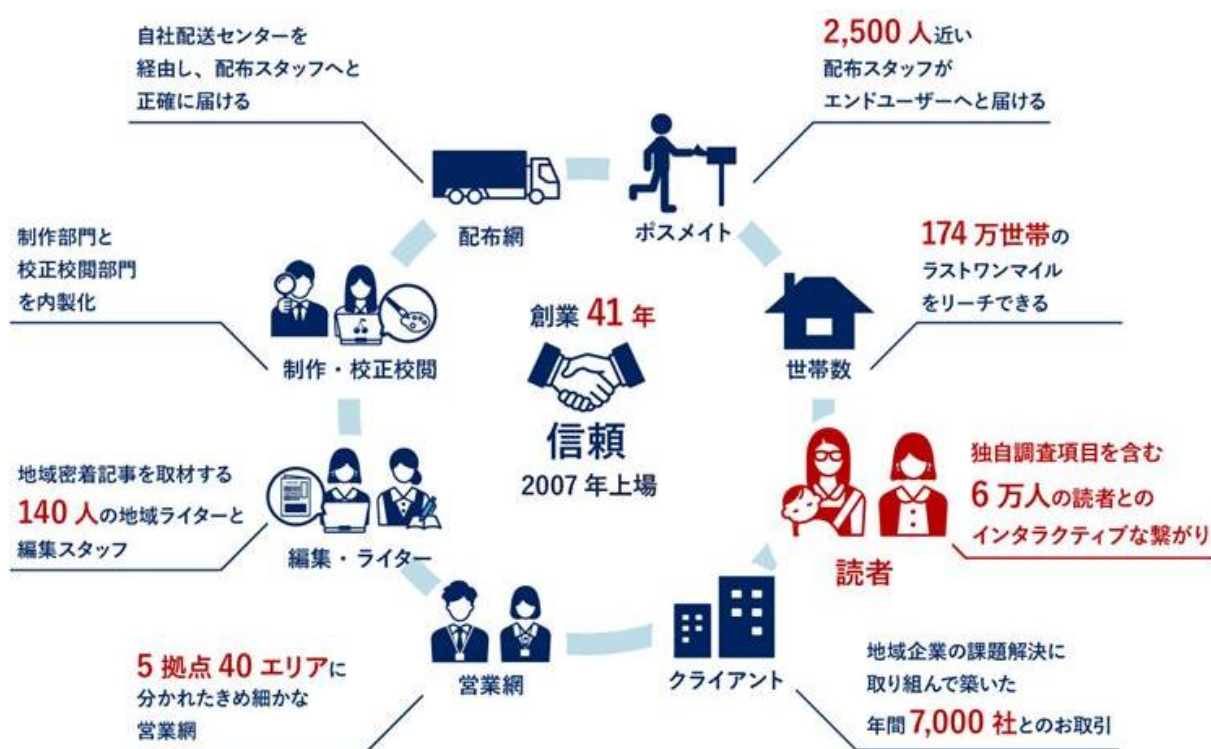
校了日：2026 年 2 月 26 日（木）

広告申込締め切り：2026 年 1 月 30 日（金）

地域新聞社のアセットについて

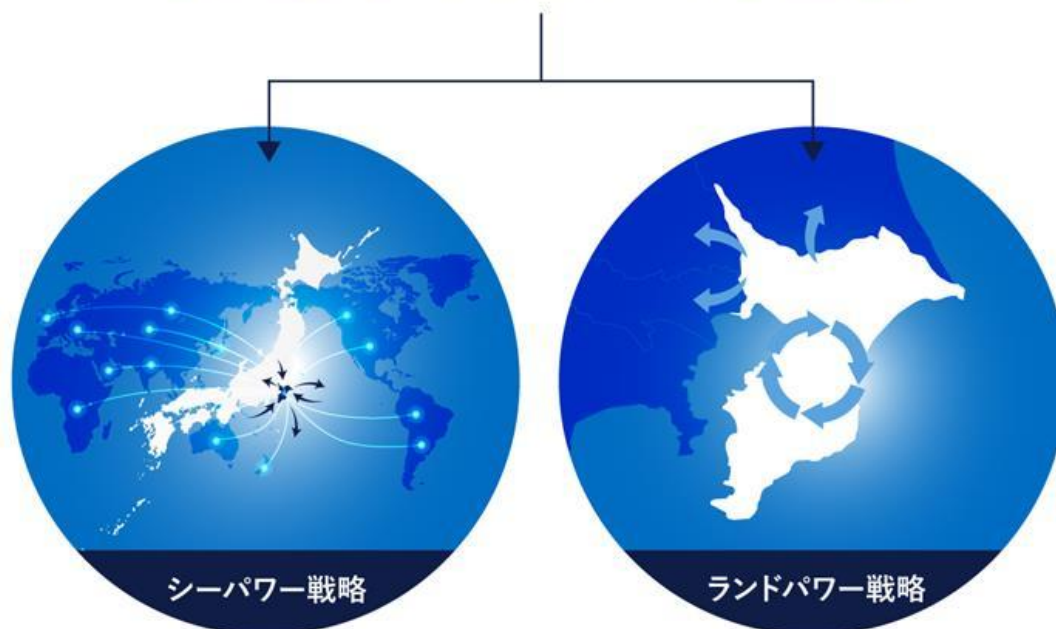
当社は、地域密着型の生活情報誌『ちいき新聞』の発行を軸に、情報発信および販売促進の総合支援事業を展開しており、年間約 7,000 社にサービスを提供しています。千葉県を中心に毎週発行している

『ちいき新聞』は、専属の配布員により 174 万世帯へポスティングされ、創業以来 40 年以上にわたり配布を継続してきたことで、他に類を見ない九つのアセットを築いてきました。



現在当社では、この独自のアセットを部分的に活用した取り組みに注力しており、その活用方法として、千葉県外から県内へ、また県内から県外へと価値を橋渡しする「シーパワー戦略」、および県内で価値循環を図る「ランドパワー戦略」の2つを展開しています。

地域新聞社の九つのアセットを二つの戦略で部分活用



アセットと成長戦略「StrategicPlan」の詳細▼

<https://ir.chiikinews.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/StrategicPlan9.pdf>

会社概要

社名 : 株式会社地域新聞社（東証グロース 証券コード 2164）
所在地 : 〒276-0020 千葉県八千代市勝田台北 1-11-16 VH 勝田台ビル 5F
代表者 : 代表取締役社長 細谷 佳津年
創業 : 1984 年 8 月 28 日
URL : <https://chiikinews.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社地域新聞社

担当 : 編集部 寺本 忍

TEL : 0120-152-337

Mail : teramoto@chiikinews.co.jp